令和７年度

小学校第６学年

算　数

注　意

１　先生の合図があるまで、中を開かないでください。

２　調査問題は、１ページから22ページまであります。問題用紙のあいている場所は、下書きや計算などに使用してもかまいません。

３　解答用紙は、両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。

４　解答は、ＨＢ以上のこさの黒えんぴつ（シャープペンシルも可、ボールペンは不可）を使い、こく、はっきりと書きましょう。また、消すときは消しゴムできれいに消しましょう。

５　解答時間は、45分間です。解答が早く終わったら、よく見直しましょう。

６　問題用紙の最後に、この調査問題について質問があります。解答時間終りょう後、先生の指示で回答しましょう。

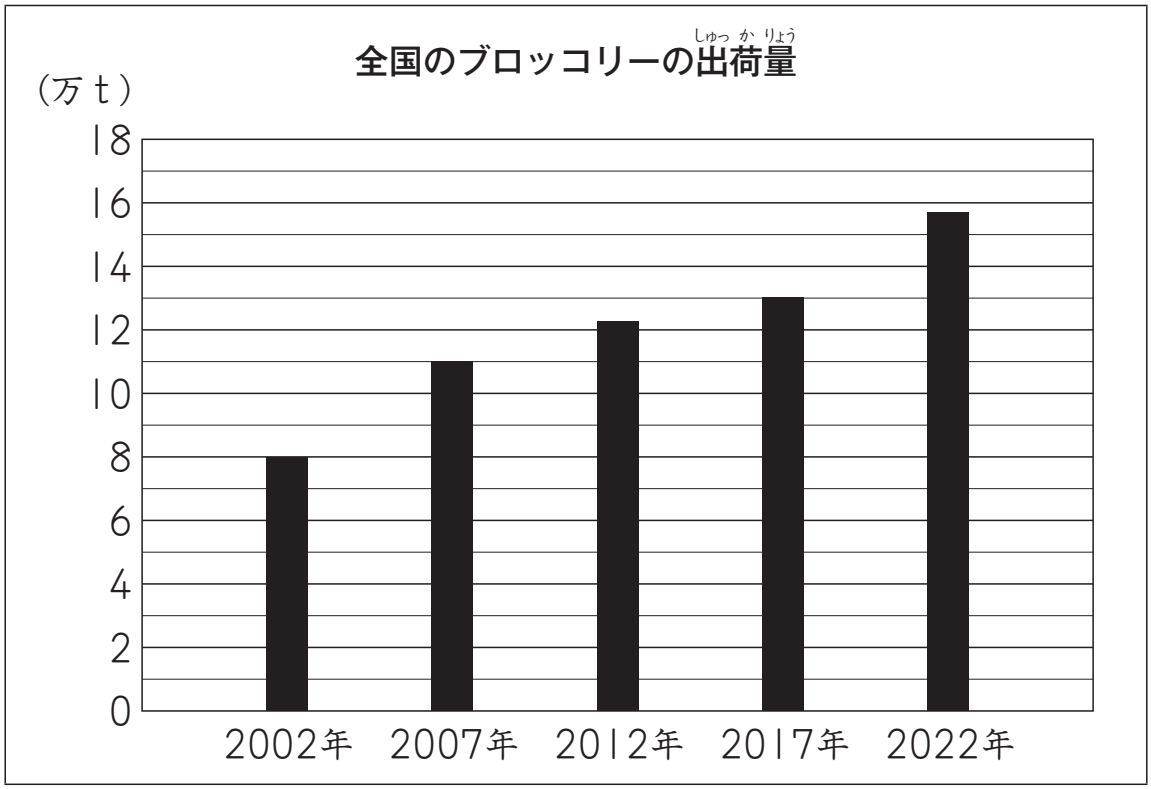
調査問題は、次のページから始まります。

1

あいりさんたちは、2026 年度からブロッコリーが指定野菜に追加されることをニュースで知り、指定野菜について調べることにしました。

(1)　あいりさんは、ブロッコリーについて調べていると、右の**グラフ 1** を見つけました。

グラフ1



（作物統計調査による。）

グラフ1からわかることを、次のようにまとめます。

2022年の全国のブロッコリーの出荷量は、2002年の出荷量の約 ㋐ 倍になっています。

上の㋐に入る数を、下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.5

2 2

3 8

4 16

⑵　あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Ａのブロッコリーの出荷量（しゅっかりょう）が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右の**グラフ２**と**グラフ３**を見つけました。

あいり

グラフ２と**グラフ３**を見つけたけれど、どちらか１つのグラフを見れば、都道府県Ａのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかがわかります。

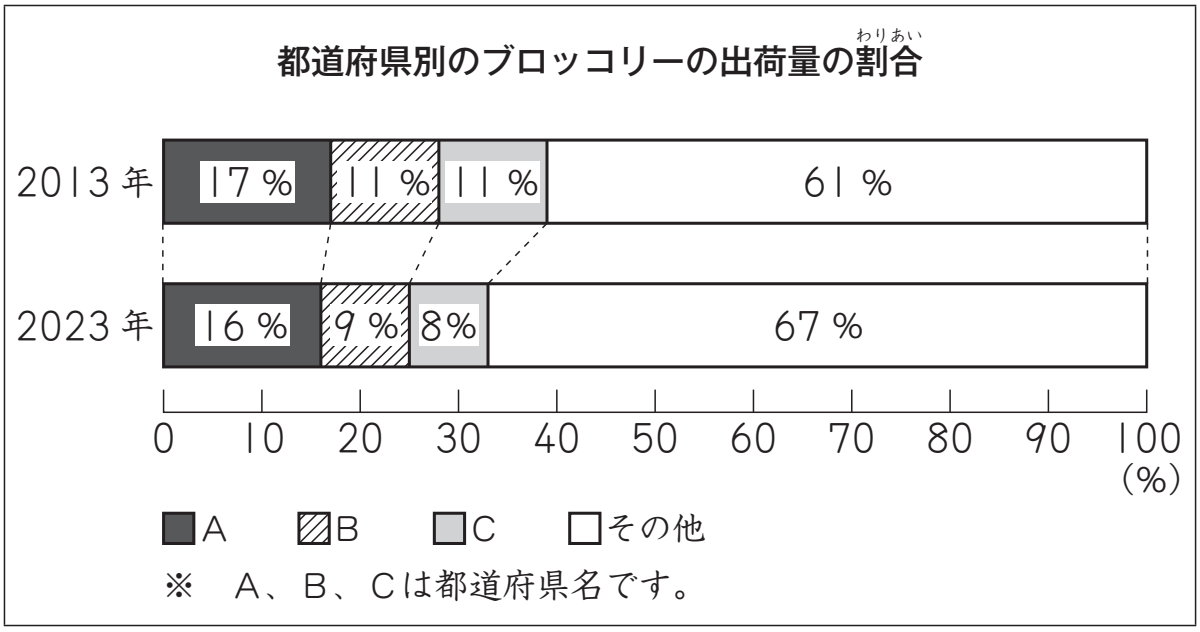
2023年の都道府県Ａのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下の **ア** と **イ** から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、**どちらのグラフのどこに着目したのか**がわかるようにしましょう。

ア　2023年は2013年より増えた。

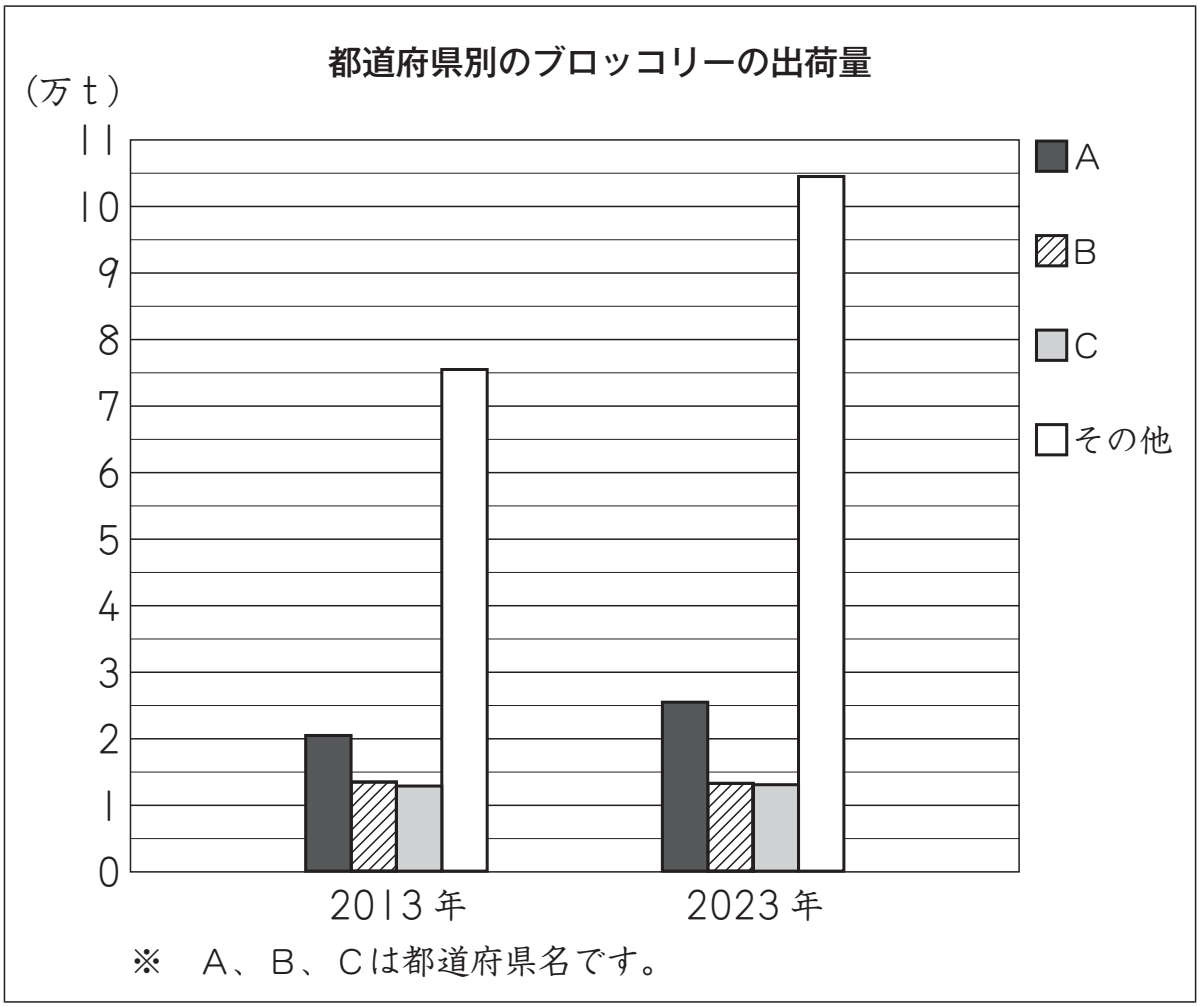
イ　2023年は2013年より減った。

グラフ２



（作物統計調査による。）

グラフ３



（作物統計調査による。）

(3)　あいりさんたちは、指定野菜のだいこんについても調べています。

あいり

だいこんは、冬にとれる野菜だと思っていましたが、スーパーマーケットには一年中売られています。

れんと

だいこんは出荷（しゅっか）される時期によって３つに区別されています。それぞれの出荷量は、どのようになっているのでしょうか。

れんとさんは、下の表を見つけました。

だいこんの出荷量（2022年）　（t）

種別／都道府県	春だいこん（4月～6月に出荷）	夏だいこん（7月～9月に出荷）	秋冬だいこん（10月～3月に出荷）	合計
㋐	51300	348	82900	134548
㋑	9240	91400	20800	121440
㋒	18900	50300	28700	97900
㋓	12600	477	70100	83177
その他	84460	44875	420200	549535
合計	176500	187400	622700	986600

※　㋐、㋑、㋒、㋓は都道府県名です。

（作物統計調査による。）

あいり

「春だいこん」「夏だいこん」「秋冬だいこん」の中で、「夏だいこん」がいちばん多い都道府県がありますね。

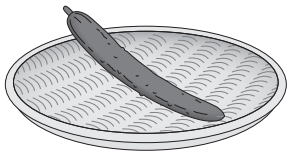
だいこんの出荷量について、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」が多い都道府県を、上の表の ㋐ から ㋓ までの中から**すべて**選んで、その記号を書きましょう。

⑷ 指定野菜について調べていたあいりさんたちは、１人が１日に食べる野菜の量の目標は 350 g と知り、下の資料を見つけました。

70 g ってどれくらい？

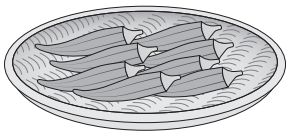
それぞれの野菜の 70 g の目安

きゅうり



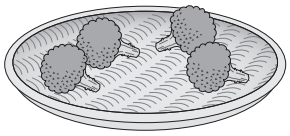
１本分で 70 g

オクラ



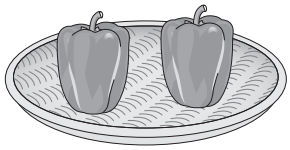
８本分で 70 g

ブロッコリー



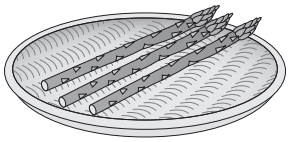
４個分で 70 g

ピーマン



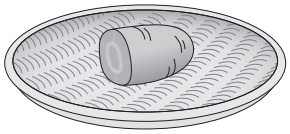
２個分で 70 g

アスパラガス



３本分で 70 g

にんじん



３cm 分で 70 g

１日に野菜を 350 g 食べよう！

あいり

例えば、きゅうりを１本食べたとすると、70 g の野菜を食べたことになりますね。

れんと

ピーマン１個とブロッコリー４個を食べたら、何 g の野菜を食べたと考えることができるのかな。

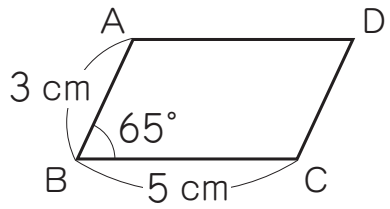
上の資料をもとにすると、ピーマン１個とブロッコリー４個を食べたとき、何 g の野菜を食べたと考えることができますか。

求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

2

わかなさんたちは、いろいろな図形について学習してきたことをふり返っています。

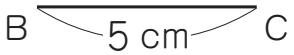
(1) 下のような平行四辺形ＡＢＣＤがあります。



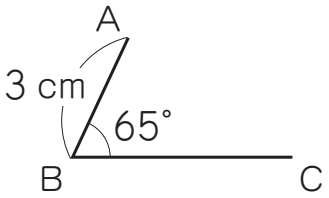
わかなさんは、右の**【わかなさんのかき方】**のように、平行四辺形ＡＢＣＤをかいています。

【わかなさんのかき方】

① 長さが５cmになるように辺ＢＣをかきます。

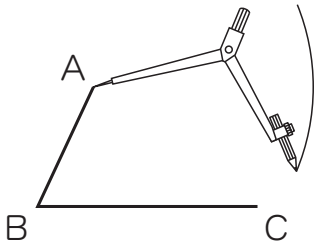


② 角Ｂの大きさが65°で、長さが３cmになるように辺ＡＢをかきます。

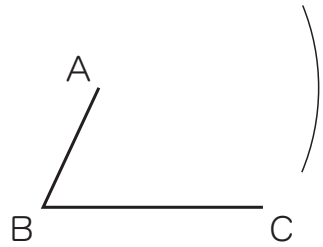


③ コンパスを使って、頂点（ちょうてん）Ｄの位置を決めます。

コンパスを５cm（辺ＢＣの長さ）に開（ひら）き、コンパスの針（はり）を頂点Ａにさして、円の一部をかきます。



【わかなさんのかき方】の③でできた図は、下のようになりました。



このあと、頂点（ちょうてん）Ｄの位置を決めるために、コンパスをもう一度使います。コンパスを何cmに開（ひら）きますか。答えを書きましょう。

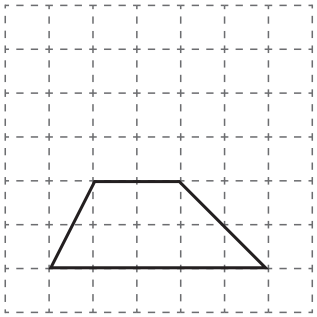
また、コンパスの針（はり）をさす場所を、頂点Ａ、頂点Ｂ、頂点Ｃの中から１つ選んで書きましょう。

(2) わかなさんは、方眼紙に下の **1** から **5** までの四角形をかきました。

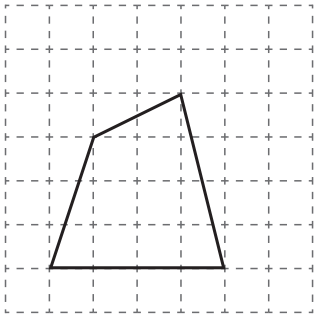
下の **1** から **5** までの中で、台形はどれですか。

3つ選んで、その番号を書きましょう。

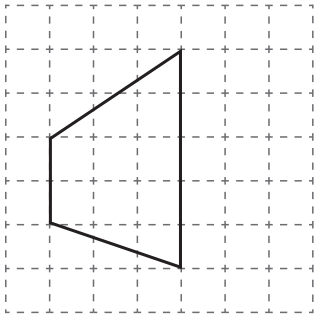
1



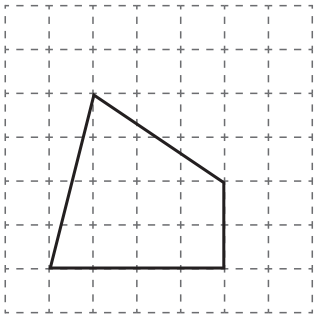
2



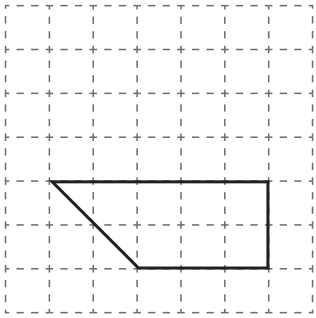
3



4



5



⑶　わかなさんは、**図１**の㋐の角と**図２**の㋑の角の大きさを比べています。**図２**の㋑の角をつくっている２つの辺は、**図１**の㋐の角の２つの辺をそれぞれのばしたものです。

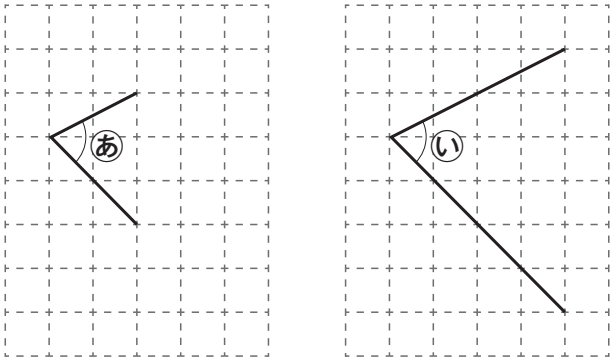


図１　　**図２**

㋐の角と㋑の角の大きさについて、どのようなことがわかりますか。下の **ア** から **エ** までの中から１つ選んで、その記号を書きましょう。

ア　㋐の角の大きさのほうが大きい。

イ　㋑の角の大きさのほうが大きい。

ウ　㋐の角と㋑の角の大きさは等しい。

エ　㋐の角と㋑の角の大きさがわからないので、このままでは比べることができない。

(4) わかなさんたちは、**図３**のような五角形**アイウエオ**の面積の求め方を考えています。

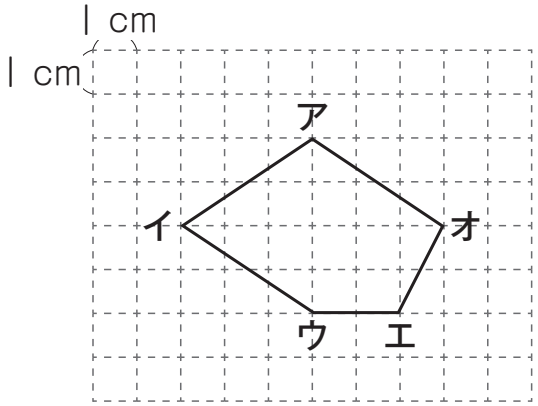


図３

わかなさんたちは、三角形や四角形の面積の求め方が使えるように、**図３**の五角形**アイウエオ**を、２つの図形に分けようとしています。

わかな

私（わたし）は、直線**イオ**をひいて２つの図形に分けようと思います。

ゆうた

私は、直線**ウオ**をひいて２つの図形に分けようと思います。

わかなさんとゆうたさんのどちらの分け方でも、五角形**アイウエオ**の面積を求めることができます。

五角形**アイウエオ**を２つの図形に分けて面積を求めるとき、あなたならどちらの直線をひいて求めますか。２つの図形に分ける１本の直線を、下の **１** と **２** から選んで、その番号を書きましょう。

また、２つの図形の面積がそれぞれ何 cm² になるのか、それらの求め方を、**図３**の中から必要な長さを調べて、式や言葉を使って書きましょう。ただし、計算の答えを書く必要はありません。

１　直線**イオ**

２　直線**ウオ**

※　必要ならば、下の公式を使って考えてもかまいません。

- 長方形の面積＝たて×横
  ＝横×たて
- 正方形の面積＝１辺×１辺
- 平行四辺形の面積＝底辺×高さ
- 三角形の面積＝底辺×高さ÷２
- 台形の面積＝（上底＋下底）×高さ÷２
- ひし形の面積＝対角線×対角線÷２

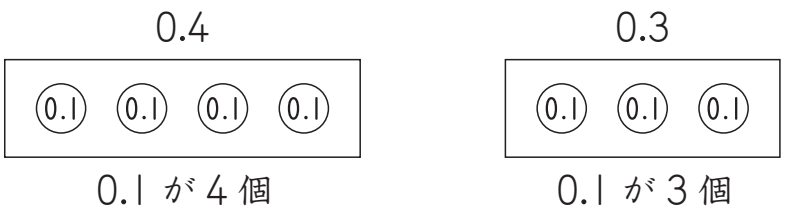
3

ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、0.4 + 0.3 についてまとめています。

ひろと

0.4 は 0.1 の 4 個分、0.3 は 0.1 の 3 個分です。
0.1 を ⓪.① として下の図のように表します。



0.4 + 0.3 の計算は、0.1 をもとにすると、4 + 3 を使って考えることができます。

0.4 + 0.3 は、0.1 を**もとにする数**にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、0.4 + 0.05 について同じようにまとめます。

0.4 は ㋐ の 40 個分、0.05 は ㋐ の 5 個分です。
0.4 + 0.05 の計算は、㋐ をもとにすると、40 + 5 を使って考えることができます。

上の ㋐ にはすべて同じ数が入ります。㋐ に入る数を書きましょう。

⑵　ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、$\frac{2}{5}+\frac{1}{5}$ についてまとめています。

みおり

$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、$\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。

$\frac{2}{5}+\frac{1}{5}$ の計算は、$\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5}+\frac{1}{5}$ は、**もとにする数**を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、$\frac{3}{4}+\frac{2}{3}$ について考えています。

ひろと

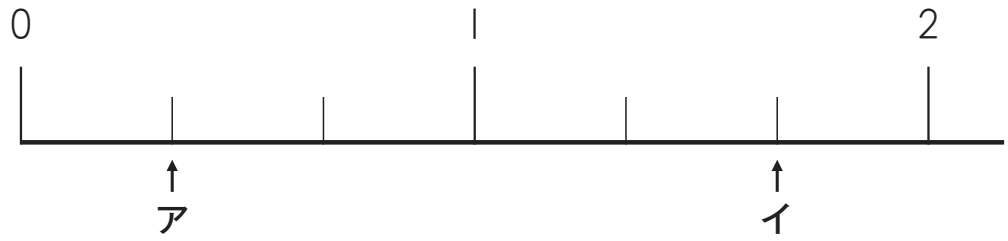
$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、$\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4}+\frac{2}{3}$ についても、**もとにする数**を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、$\frac{3}{4}$ はその数の何個分、$\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

(3) 次の数直線の**ア**、**イ**の目もりが表す数を**分数**で書きましょう。



(4) $\frac{1}{2}+\frac{1}{3}$ を計算しましょう。

調査問題は、次のページに続きます。

4

保健委員のあさひさんたちは、手を洗うときに使っているハンドソープについて話し合っています。

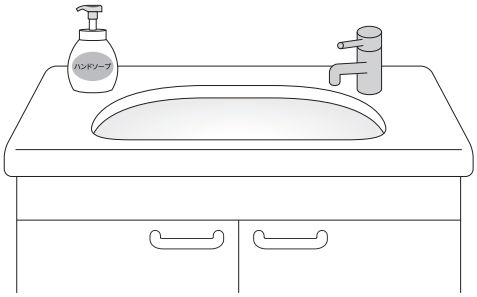
あさひ

ハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを知りたいです。

| プッシュとは、容器の先たんを下までしっかり | 回おすことです。

| プッシュしたとき、ハンドソープの液体が毎回同じ量ずつ出ることとします。

(1)　まず、あさひさんは、保健室にある新品のハンドソープを空になるまで使うとしたら、何プッシュすることができるのかを考えています。



あさひ

保健室にある新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が 240 mL 入っています。

新品のハンドソープには、ハンドソープの液体が 240 mL 入っています。

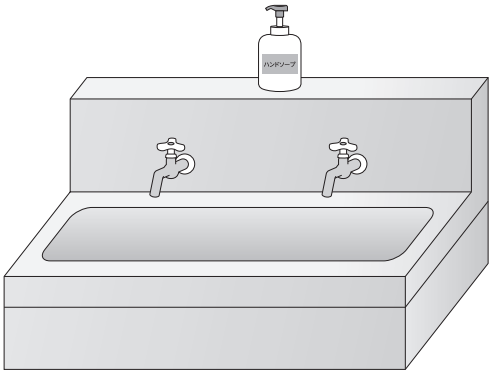
新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを知るためには、240 mL の他に何がわかればよいですか。

下の **ア** から **エ** までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

ア	1 プッシュ分のハンドソープの液体の量	3 mL
イ	1 プッシュするときにおす長さ	2 cm
ウ	あさひさんが 1 日にプッシュする回数の平均	8 回
エ	あさひさんが手を洗うときにかかる時間の平均	60 秒

(2) 学校の手洗い場に、別の容器に入っている使いかけのハンドソープがあります。

次に、あさひさんたちは、そのハンドソープを空になるまで使うとしたら、あと何プッシュすることができるのかを考えています。

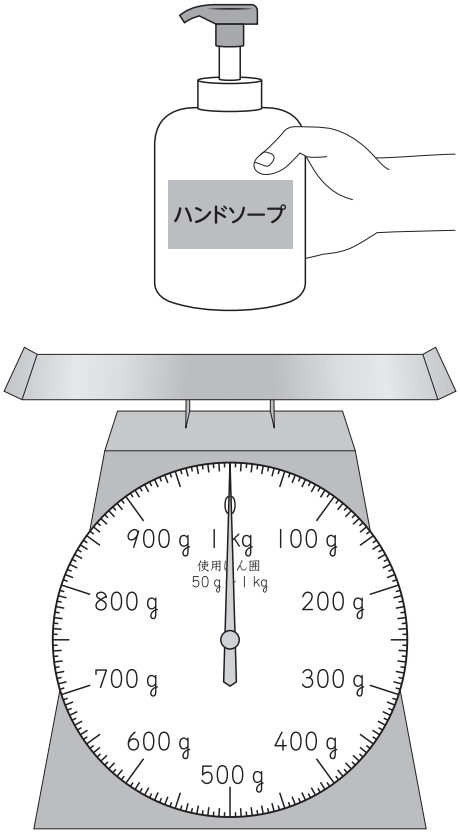


あさひ

新品だったらハンドソープの液体が何 mL 入っているのかは、はっきりわかるけれど、使いかけのハンドソープの液体が何 mL 入っているのかは、すぐにはわかりません。

かんな

ハンドソープの液体の重さをはかって調べられないでしょうか。



このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは 270 g でした。

使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、270 g の他に何がわかればよいですか。

下の **ア** から **エ** までの中から**2つ**選んで、その記号を書きましょう。

また、その 2 つと 270 g を使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

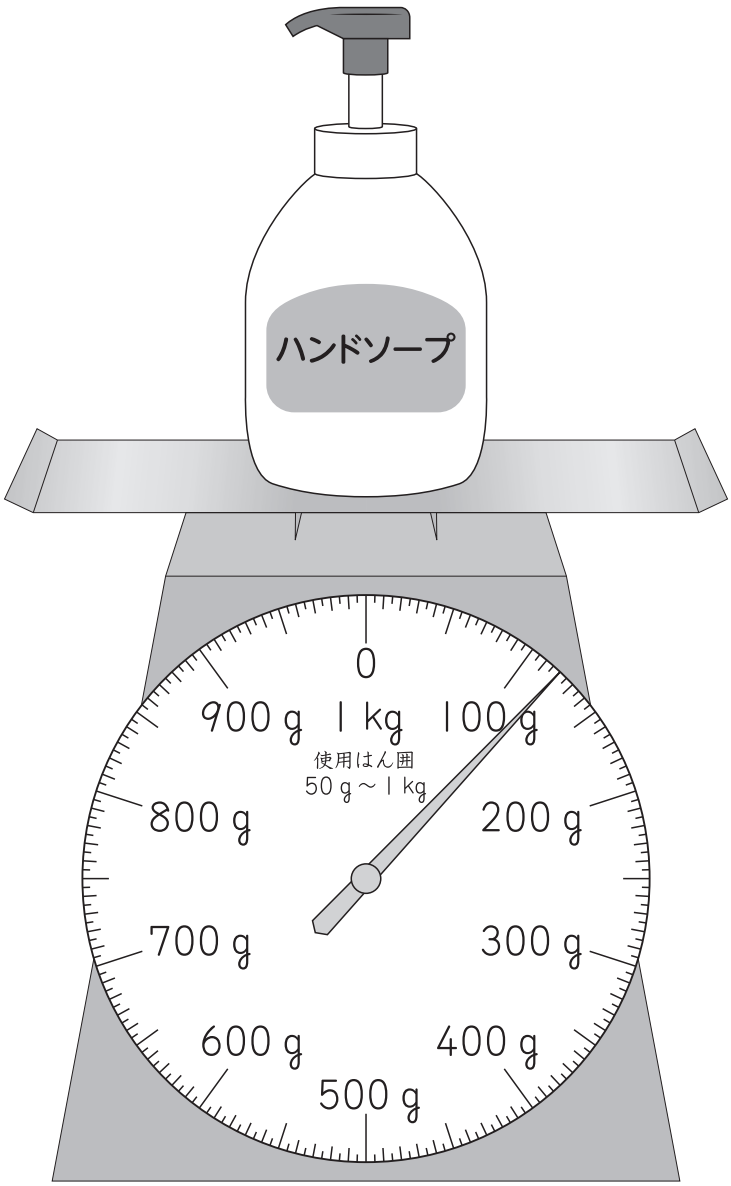
ア	新品のハンドソープの重さ	360 g
イ	ハンドソープの容器の重さ	60 g
ウ	1 プッシュ分のハンドソープの液体の重さ	3 g
エ	かんなさんが 1 日に手を洗う回数の平均	7 回

(3) あさひさんたちは、さらに別の容器のハンドソープの重さを調べています。

そのハンドソープを容器ごとはかりにのせると、下の図のようになりました。

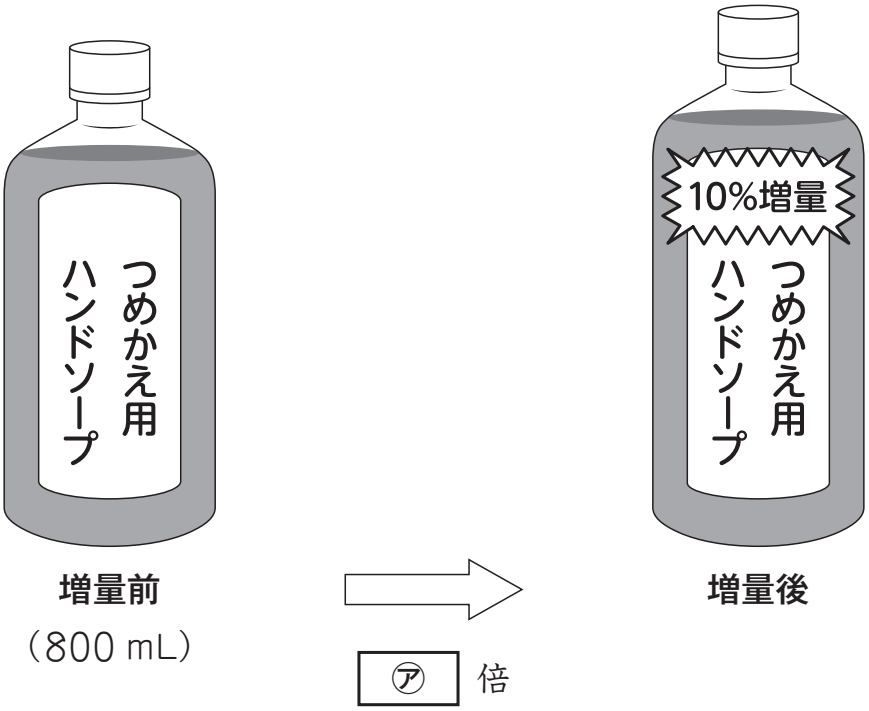
はかりの針(はり)が指(さ)している目もりは何gですか。

答えを書きましょう。



(4) 家に帰ったあさひさんは、つめかえ用のハンドソープがのっている広告を見ました。

広告には、つめかえ用のハンドソープが「10%増量」と書かれています。増量前のつめかえ用のハンドソープの量は 800 mL です。



増量後のハンドソープの量は、増量前のハンドソープの量の何倍ですか。

上の㋐にあてはまる数を、下の **1** から **4** までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

1 0.1

2 1.1

3 10

4 110

これで、算数の調査問題は終わりです。
最後に質問があります。解答時間終りょう後、先生の指示で回答しましょう。

【質問】 ※解答時間終りょう後、先生の指示で回答しましょう。

それぞれの質問について、当てはまるものやあなたの考えに最も近いものを1つ選んで、解答用紙の □ の中の回答らんに、その番号（数字）を書きましょう。

⑴ 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した

2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中（とちゅう）であきらめたりしたものがあった

3 書く問題は全く解答しなかった

⑵ 解答時間は十分でしたか。（45分）

1 時間が余った

2 ちょうどよかった

3 やや足りなかった

4 全く足りなかった